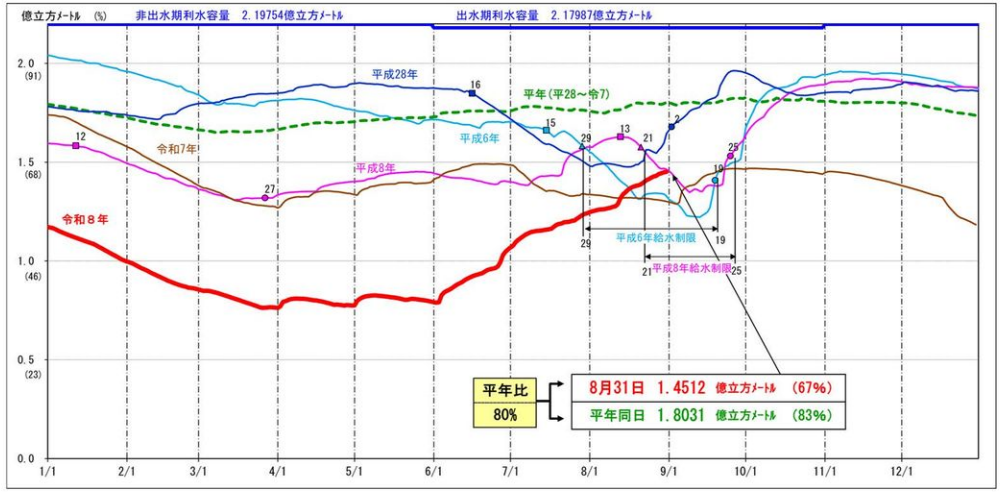
参 考 資 料

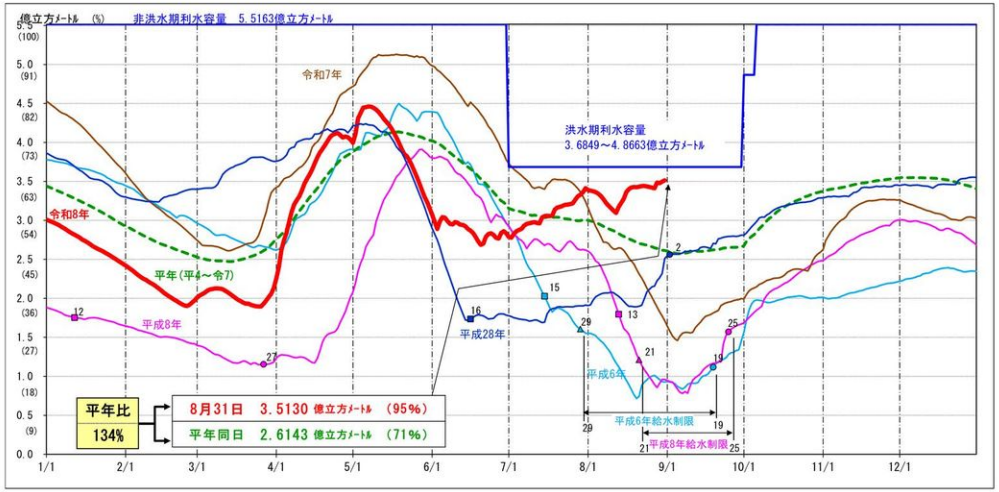
参考資料

（1）貯水量（2026年８月末現在）

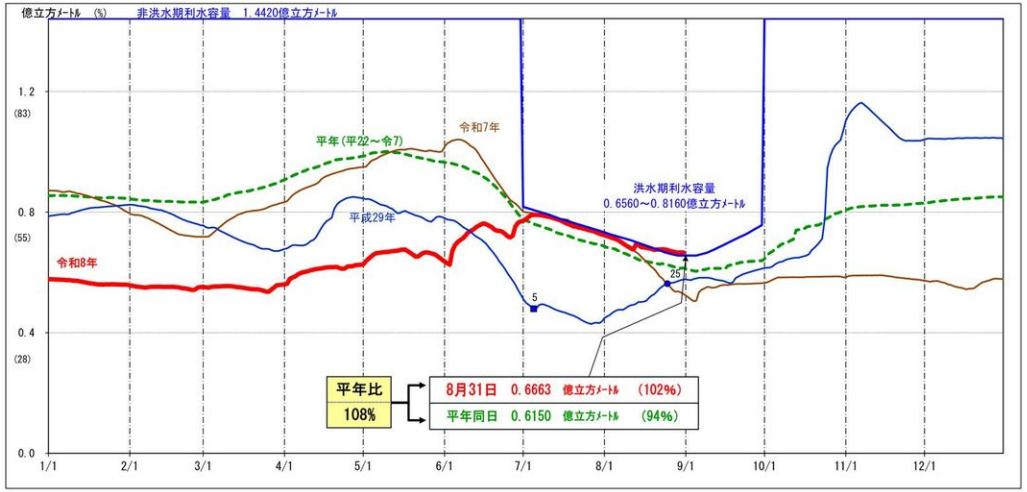
多摩川水系ダム



利根川水系ダム



荒川水系ダム



参考資料

（2）水道事業ガイドラインで見る変化（分類：環境）

水道事業ガイドラインは、公益社団法人日本水道協会が制定した水道サービス（事業）に関する国内規格です。水道事業全般について多面的に定量化し評価することを目的とし、119項目の業務指標で構成されています。ここでは環境に分類されている６つの指標を掲載します。

業務指標	定義	単位	指標値※1				
			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
配水量１㎥当たり電力消費量	電力使用量の合計/年間配水量	kWh/㎥	0.52	0.52	0.51	0.50	0.51
配水量１㎥当たり消費エネルギー	エネルギー消費量/年間配水量	MJ/㎥	5.16	5.15	4.64	4.55	4.58
配水量１㎥当たり二酸化炭素（CO_2）排出量	（CO_2排出量/年間配水量）×10^6	g-CO_2/㎥	235	239	257	203	207
再生可能エネルギー利用率	（再生可能エネルギー設備の電力使用量/全施設の電力使用量）×100	%	1.12	0.99	0.57	0.58	0.64
浄水場発生土の有効利用率	（有効利用量/浄水場発生土量）×100	%	56.5	65.3	65.8	48.2	66.1
建設副産物のリサイクル率	（リサイクルされた建設副産物量/建設副産物発生量）×100	%	100	99	100	100	100

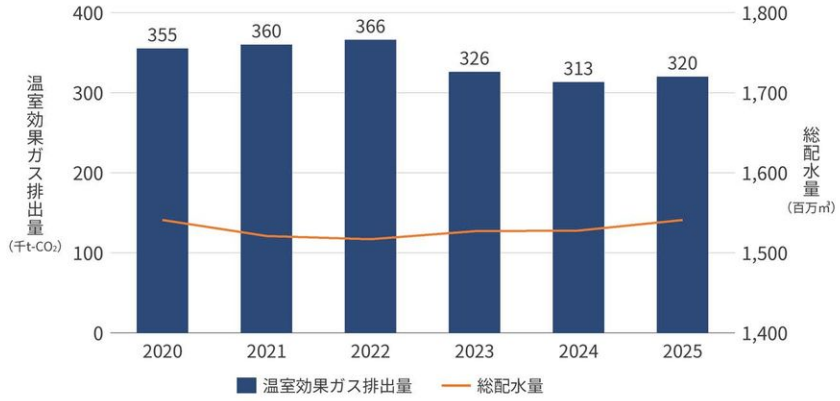
※１　水道事業ガイドラインの指標については、公益社団法人日本水道協会が定める方法に基づき算出しています。

（3）その他データ

要因別二酸化炭素排出量※2　(t-CO_2)

活動		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
電気	オフィス活動による排出	3,443	4,146	3,488	3,447	3,822
	オフィス活動以外による排出	339,767	344,381	304,488	262,167	268,969
熱（蒸気）		1,794	2,012	2,043	1,777	343
燃料		13,896	13,569	13,988	43,076	44,843
その他		330	353	922	2,483	2,512
合計		359,230	364,461	324,929	312,951	320,490

※２　地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき算出しています。



温室効果ガス排出量と総配水量の推移

薬品使用量（2025年度）

工程	薬品名	使用量（t）
取水・導水	活性炭	2,365
浄水	次亜塩素酸ナトリウム（12%換算）	22,093
	ポリ塩化アルミニウム（ＰＡＣ）※高塩基度PAC含む	36,451
	水酸化ナトリウム	15,672
	濃硫酸	6,415
	その他	1,272
送配水	次亜塩素酸ナトリウム（12%換算）	190

（4）発熱量及びCO_2排出係数

エネルギー種別	単位発熱量	CO_2排出係数
電力（実績算定）	8.64 GJ/千kWh	事業者別排出係数を使用
電力（削減効果算定）		0.399 t-CO_2/千kWh
ガソリン	33.4 GJ/kL	2.290 t-CO_2/kL
灯油	36.5 GJ/kL	2.503 t-CO_2/kL
軽油	38.0 GJ/kL	2.619 t-CO_2/kL
ＬＰＧ	50.1 GJ/t	2.994 t-CO_2/t

エネルギー種別	単位発熱量	CO_2排出係数
都市ガス	45.0 GJ/千N㎥	事業者別排出係数を使用
産業用蒸気	1.17 GJ/GJ	事業者別排出係数を使用
産業用以外の蒸気	1.19 GJ/GJ	事業者別排出係数を使用
冷水	1.19 GJ/GJ	事業者別排出係数を使用
温水	1.19 GJ/GJ	事業者別排出係数を使用

お客さまからの御意見募集及びPR施設の御案内

御意見募集

環境施策のより一層の充実を図るとともに、環境報告書の内容をより良いものとするため、水道局の環境施策の取組状況及び環境報告書の記載内容について、御意見を受け付けております。

以下の二次元コードからアンケートに御回答くださいますようお願い申し上げます。

アンケートはこちらから





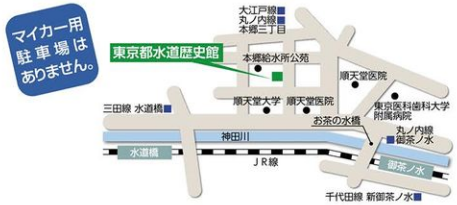
皆様からいただいた評価及び御意見を基に、今後の環境施策や環境報告書の内容の充実に努めてまいります。

PR施設の御案内

東京都水道歴史館

江戸上水開設から現在に至る400年余りの水道の歴史について、大人から子供まで楽しみながら学ぶことができます。

所在地　文京区本郷二丁目７番１号
電話　03-5802-9040
最寄駅　JR中央線・総武線　御茶ノ水駅
地下鉄丸ノ内線　大江戸線　本郷三丁目駅
各駅徒歩約８分
開館時間　午前９時30分から午後５時まで
（入館は午後４時30分まで）
休館日　毎月第４月曜日（休日の場合は翌日）、
年末年始（12月28日から１月４日まで）
入場料　無料



東京都水の科学館

水の不思議と大切さを科学の視点で紹介し、楽しみながら水と水道への興味を深めることができる体感型ミュージアムです。

所在地　江東区有明三丁目１番８号
電話　03-3528-2366
最寄駅　ゆりかもめ　東京ビッグサイト駅、
りんかい線　国際展示場駅　各駅徒歩約10分
都バス　武蔵野大学前　徒歩５分
開館時間　午前９時30分から午後５時まで
（入館は午後４時30分まで）
休館日　月曜日（休日の場合は翌日）、
年末年始（12月28日から１月４日まで）
入場料　無料



奥多摩　水と緑のふれあい館

奥多摩の自然と歴史、水の大切さやダムの仕組みなどを分かりやすく紹介しています。



水と緑のふれあい館
キャラクター　くりん

所在地　西多摩郡奥多摩町原５番地
電話　0428-86-2731
最寄駅　JR青梅線奥多摩駅前から「奥多摩湖」、
「鴨沢西」、「丹波」、「小菅の湯」、「峰谷」、
「留浦」行きバス約20分
「奥多摩湖」停留所下車目の前
（周辺に無料駐車場あり）
開館時間　午前９時30分から午後５時まで
休館日　水曜日（休日の場合は翌日）、
年末年始（12月28日から１月４日まで）
入場料　無料



用語集

環境報告書内で使用した用語の解説（P.11～P.55）

P.11	**TCFD提言**	気候関連財務情報開示を企業等へ促すタスクフォース（TCFD）が推奨する開示項目をまとめたもの。TCFDはISSB（国際サステナビリティ基準審議会）に引き継がれ2023年10月に解散したが、TCFD提言の内容はISSBのサステナビリティ開示基準にも幅広く取り入れられており、多くの企業が同提言に基づく開示を行っている。
P.32	**トップランナー機器**	エネルギー消費効率が、購入年度時点で、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律に基づく経済産業省告示における最新の判断基準（トップランナー基準）に示す基準を上回るものを指す。
P.38	**ガスタービン**	原動機の一種。小型・軽量でありながら大出力を取り出せるのが特徴。発電効率はガスエンジンと比べて相対的に低いが、排熱回収により高い総合効率を得ることができる。
	ガスエンジン	原動機の一種。ガスタービンと比べて発電効率が相対的に高い。
	コージェネレーションシステム	発電時に生じる排熱を回収し、他の用途に有効利用すること。
P.44	**ZEV**	電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド車（PHV）、燃料電池車（FCV）をいう。
P.47	**直結給水方式**	水道水を配水管から直接給水する方式。
	貯水槽水道方式	一旦貯水槽に貯留してから揚水ポンプで給水する方式。
P.52	**浄水場発生土**	河川の水から水道水を作る過程で、河川水中の土砂等を凝集・沈殿させた後、濃縮・脱水することで発生する土。
P.54	**建設副産物**	建設工事に伴い副次的に得られるものをいい、次のように分類される。 建設廃棄物：廃棄物処理法第２条１項に規定する廃棄物（がれき類、汚泥、木くず、コンクリートくずなど） 建設発生土：建設工事に伴い発生する土砂等 有価物：スクラップ等他人に有償で売却できるもの
	特定建設資材	コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート。
	現場内利用	発生した建設発生土を一時的に堆積し、同一現場で利用すること。
	工事間利用	発生した建設発生土を一時的に堆積し、他現場で利用すること。
P.55	**主伐**	新たに苗木を植える空間をつくるため、十分に成長した樹木（上木）をある程度残して伐採すること。
	間伐	森林内に光が入るようにするため、健全な成長が見込めない樹木を伐採すること。

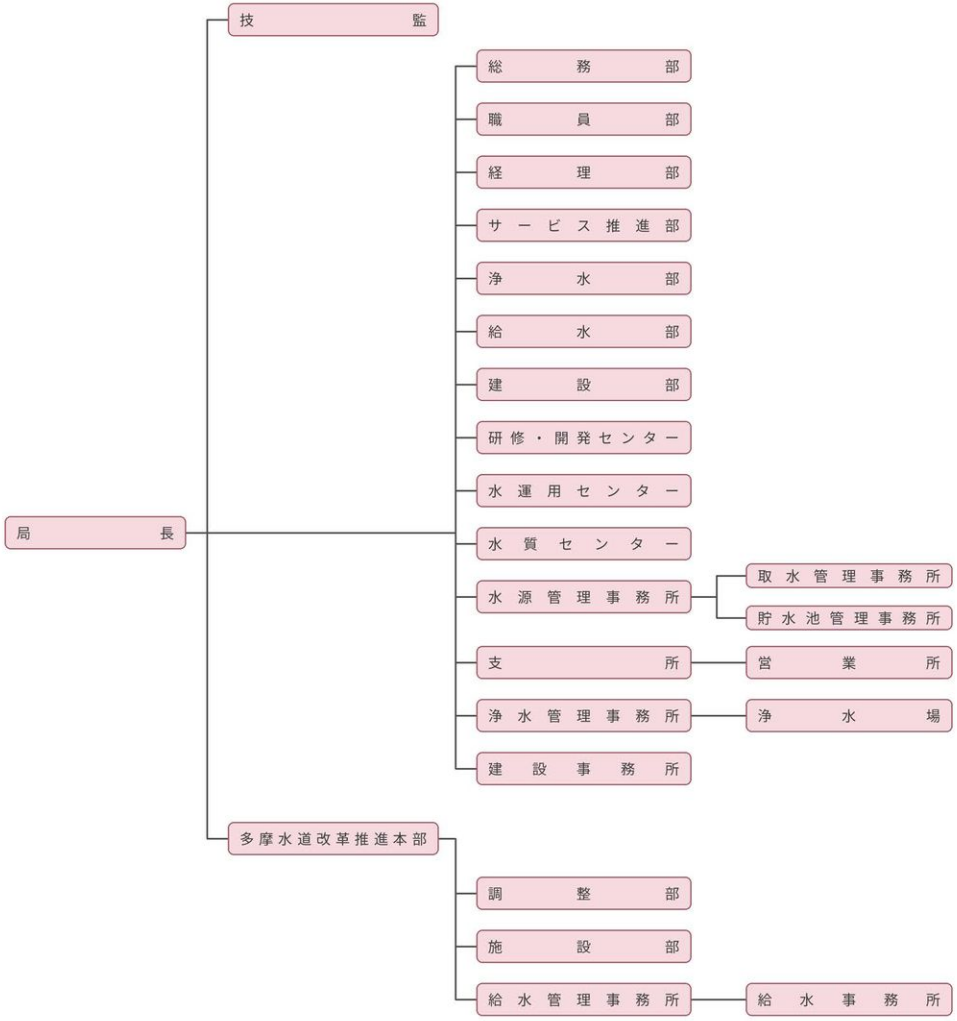
用語集

環境報告書内で使用した用語の解説（P.57～P.100）

P.57	**3R**	リデュース；Reduce、リユース；Reuse、リサイクル；Recycle
	グリーン購入	購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく、環境の事を考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを選択して購入すること。
P.63	**ワンウェイプラスチック**	一般的に一度だけ使用した後廃棄することが想定されるプラスチック製のものをいう。（例：使い捨てのスプーンやフォーク、マドラー、ストロー、レジ袋、ペットボトル等）
P.69	**生物活性炭**	有機物を分解する微生物が表面に付着した活性炭のこと。
P.75	**複層林**	様々な高さの樹冠（樹木の上部、枝や葉の集まる部分）で構成される森林のこと。
P.79	**自然侵入促進型植生マット**	既存の植生に影響を与えないよう、周囲の森林から飛来した種子を捕捉し緑化を図るマット。
P.82	**ヒートアイランド現象**	緑地や水面の減少、都市活動に伴う排熱を主な理由とした、都市の気温が周囲より上昇する現象。
P.82	**玉川上水**	多摩川の水を江戸市中へと送るために江戸時代初期に造られた水路で、歴史的価値を有する「土木施設・遺構」として、国の史跡に指定されている。羽村取水口（羽村市）から四谷大木戸（新宿区）へ至る約43kmの長さがあり、現在も上流部の約12kmの区間は、東村山浄水場及び小作浄水場に原水を供給する施設として都民生活を支えている。
P.87	**学校キャラバン**	主に小学４年生を対象に、家庭に水道水が届くまでの仕組みや水道水のおいしさ、安全性等を楽しく学習する講座。
	地域キャラバン	乳幼児を含む子供たちやその保護者など地域のお客さまを対象に、ショッピングモールや児童館等で親子が楽しみながら水道水の安全性や、家庭での水道水の使い方、災害時給水ステーション等について学べる講座。
	おうち水道キャラバン	特設ホームページに、誰でも視聴可能な水道キャラバンの授業・講座映像や受講後復習コンテンツ等を掲載。より多くのお客さまが時間と場所を選ばず水道キャラバンを体験できるコンテンツ。
P.89	**Tokyowater Drinking Station**	公共性の高い場所に設置されている水飲栓及びイベントの際に水道局が設置する仮設の水飲栓。
P.98	**東京水道グループ**	東京都水道局と東京水道株式会社（政策連携団体）を指す。
P.100	**とうきょう森づくり貢献認証制度**	森づくり活動の実施や、多摩産材を利用した企業や都民等の方々に対し、東京の森づくりへの貢献と、二酸化炭素吸収量又は二酸化炭素貯蔵量を認証する制度。
P.100	**共同施工**	複数の工事が近接している場合、同一時期にまとめて施工すること。

編集方針

本報告書は、お客さまをはじめとする局内外の環境コミュニケーションを促進するとともに、環境への取組に関する説明責任を果たすことを目的に作成しています。水道事業は環境との関わりが深く、水道局は気候変動への対策をはじめとする環境対策に積極的に取り組んでいます。最新の環境報告ガイドラインを可能な限り適用し、これらの取組の実績を長期的な視点から分かりやすく伝えていきます。



■報告対象期間

2025年度（2025年４月１日から2026年３月31日まで）※1

■発行頻度、時期

年１回、11月

■報告対象範囲

東京都水道局※2の環境に関係する事業活動※3

■その他

- 計量の単位は、原則として計量単位規則（平成４年通商産業省令第80号）に定める計量単位の記号です。
- 作成に当たっては、環境省環境報告ガイドライン2018年版の考え方を参考としました。
- 一部のイラストは生成AIを用いて作成しています。

※１　一部の活動については、それ以前からの取組や2026年度の活動実績も含んでいます。

※２　東京都水道局は左図の組織を指します。

※３　庁舎のデータについては、計測不能なものを除いています。



ホームページやSNSにより
様々な情報を発信しています！



【水道局の情報へのアクセス方法】

東京都水道局ホームページ

東京都水道・下水道公式X（旧Twitter）